

ハンドボール おきぷら杯

ハンドボールの第10回おきぷら杯争奪第37回県小学

生大会(主催・県協会、共催・沖縄タイムズ社、協賛)

・沖縄フロンティア工業モルテン(最終日は22日)ANAアリーナ浦添で男女決勝までを行った。Aパート1部男

11で破り3年ぶり14度目、同女子はリトルsun'sがコザクラブJrに20-7で快勝して初優勝を飾った。神森小とリトルsun'sは第

32回全国小学生大会(8月、京都府)に出場する。

コザクラブ Jr 11-9 宮城小

リトルsun's 初V

パスカット 速攻光る

女子

インターセプトがぎえたリトルsun'sがコザクラブJrに20-7で快勝し、2年前の準決勝で敗れた雪辱を果たして初優勝を飾った。

攻。決勝で3度、この展開から得点した前田杏樹は「狙える場面ではボールを取ろうと話合っていた。」

シュートが決まってくれし「わすか7失点と堅守も光った。横一線を基本に1

人が上がり、ロングシュートのうまい相手の選手をゴール正面から遠ざけた。GKの末吉乃愛は「DFとの役割分担ができていて助かった」と仲間感謝し

チームは選手が少なかつた内間や当山、仲西の3小学校で2015年に結成。浦添を表す言葉「たこ(太陽の子)」のように輝いてほしいとの願いが名前に込められている。

決勝でチーム最多8得点の我那覇凜子は「全国では誰よりも速攻を決める。守備ラインの上げ下げも磨いて、ロングを打たせないようにしたい」と活躍を誓った。(又吉健次)

女子決勝 リトルsun's—コザクラブ Jr 前半、リトルsun'sの我那覇凜子が4点目のシュートを決める。ANAアリーナ浦添(落合綾子撮影)



チームは選手が少なかつた内間や当山、仲西の3小学校で2015年に結成。浦添を表す言葉「たこ(太陽の子)」のように輝いてほしいとの願いが名前に込められている。

攻め自在 後半13得点

男子

神森小は後半開始直後の5分間で6点を挙げて宮城小を突き放し、21-11で3年ぶりの頂点に立った。

速いパス回しでリードしたが、宮城小に対応され始めた前半10分以降は1得点にとどまった。その間に8-0と追い上げられて折り返した。嫌な流れを断ち切ったのは主将の新里秀斗。翁長誠光監督から「動きの中でボールをもらえ」と指示を受けるとマークがずれてフリーになり、ゴール正面からシュートを決めた。チームも盛り上がった。この勢いに乗って勝とうと思ったと振り返った。速攻にロングシュートを織り交ぜた怒濤(どたご)の攻



男子決勝 神森小—宮城小 前半、神森小の仲松奏志がシュートを放つ